

エイジフレンドリーな空間を目指して ～小さな美術館の挑戦～／胎内市美術館サポーターズ倶楽部

- サポーターのメンバー構成は？
- サポーターズの人数、年齢層？ 男女比は？  
人数は30人近くいます。年齢層は20代から80代まで（60代・70代が多い）、男女比はおおむね6：4くらいです。市内の方だけでなく、市外や県外在住の方もいます。
- サポーターズの募集の周知方法を具体的に教えてほしい。  
美術館のパンフレットやホームページに掲載しているほか、サポーターズの皆さんの口コミ、美術館に来ていただいた方とお話する中でお誘いしたりしています。
- サポーターズはいつでもなれるの？  
いつでもなれます。
- 経験も知識もないがサポーターズのメンバーになれますか？  
現在のサポーターズの皆さんも経験も知識もないところからのスタートでしたので、大丈夫です。
- サポーターズの活動広報はどのようにやっているか  
メンバーの方には活動したことを毎月郵送でお知らせしています。今後はどんな活動をしているか多くの方に知っていただけるように、いろいろなところでお知らせしていきたいと考えています。
- ワークショップなどのチラシなど作成してますか？  
ワークショップの情報は関連イベントとして企画展のチラシに載せているほか、フェイスブックで告知したり、新聞のイベント情報欄に載せてもらったりしています。
- 色んな企画はどう決める？  
企画展やワークショップなどについては職員が決めますが、サポーターズの皆さんからの提案や紹介によって演奏会などのイベントを企画することもあります。
- 協力してほしいこと、してくれることへ調整はどのようにやっているか？  
毎月手紙を発送して、お願いしたいことをメンバーに伝えていきます。調整は特にしておらず、当日来れる人・来てくれた人にやってもらっています。
- 子供たちの作品展示はありましたか？  
談話室にある市民アートギャラリーに、ワークショップやアートキャンプで子どもたちが作った作品の展示をしたことがあります。
- 今後展示物の解説・説明なども行っていくのか？

展示物の解説・説明は専門的な知識が必要なため難しいところもありますが、サポーターズの皆さんの工夫で展示に関するご案内などをすることがあるかもしれません。

- 職員とボランティアの役割は(かかわりは)？
- ボランティアの皆さんの自発性を活かすための工夫を何かやっているか。  
美術館スタッフも一緒になって作業し、ボランティアの皆さんとは仲間というような雰囲気です。
- ボランティアの協力で出来るようになったことは？  
サポーターズのアイデアによって、開催するイベント内容の幅が広がっています。また、来館した方のご案内や、イベントのときに抹茶やコーヒーを入れたり、ワークショップで子どもに楽しませる工夫をしたりというおもてなしができるようになったのはサポーターズのおかげです。おもてなしで、楽しかったな、また来たいなという気持ちになっていただける美術館になればと思います。
- 談話室の使い方(予約できる)は？  
予約や貸切はできませんが、無料でどなたでも利用できます。いつでも気軽にお立ち寄りください。また、談話室の市民アートギャラリーは市民の方の作品発表の場としてお使いいただけます(申し込みが必要です)
- 3年間に来場者数？年間に来場者数は？  
28年の開館から30年度までの3年間で18,518人(28年度5,863人、29年度5,552人、30年度7,103人)です。年間目標(4,500人)を上回る来館をいただいています。
- 夜遅くまで照明がついているが何時まで営業？  
午後5時までです。防犯上、夜間も外の照明は点けています。(トイレは24時間使用できます)